

関係各位



「既設コンクリート橋梁の維持管理に関する体験講習会」のご案内

この度、第3期 SIP「スマートインフラマネジメントシステムの構築」のサブ課題C「地方自治体等のヒューマンリソースの戦略的活用」（代表：宮里心一（金沢工業大学））の取組の一環として、「既設コンクリート橋梁の維持管理に関する体験講習会」を開催するはこびとなりました。

本講習会では、1) タブレット端末を用いた道路橋概略点検システム、ならびに 2) 非破壊試験の測定機器を体験していただきます。ご多忙とは存じますが、ご参加賜りますようお願い申し上げます。

■日時：2024 年 10 月 30 (水) 10:00-16:20 (予定)

■タイムスケジュール

10:00-10:05 開会挨拶

10:05-11:25 タブレット端末を用いた道路橋概略点検システム

非破壊試験の概要

11:25-12:45 昼休み

12:45-13:00 SIP サブ課題 C の取組み

13:00-14:30 実地体験 1 タブレット端末を用いた道路橋概略点検システム

電磁波レーダ法, 電磁誘導法, 電磁パルス法, 漏洩磁束法

14:30-14:45 休憩

14:45-16:15 実地体験 2 弾性波法 (圧縮強度・厚さ・内部欠陥・ひび割れ深さ)

16:15-16:20 閉会挨拶

■場所：富山県立大学 L205, N114, 構造材料実験室

■参加費：無料 (80 名)

■主催：第3期 SIP「スマートインフラマネジメントシステムの構築」
サブ課題 C「地方自治体等のヒューマンリソースの戦略的活用」

■申込方法：下記の Google Form, または QR コードからお申し込みください。

<https://forms.gle/oF1bdwtFM3wC8yw4A>



■申込期限：10/23 (水)

■このプログラムは、土木学会継続教育 (CPD) プログラムに認定されています (単位 5.0)。

■お問合せ先：内田慎哉 (富山県立大学) Email: uchida@pu-toyama.ac.jp

■タブレット端末を用いた道路橋概略点検システム

令和元年度から本格運用されている、タブレット端末を利用した橋梁概略点検システムは、新潟市をはじめとする全国の地方自治体で、これまで5000橋あまりの実績があります。

令和6年度の点検要領改訂に伴い、現在、システムを全面改良中ですが、現在開発中のシステムの概要の説明と、操作体験を行うことができます。



実際の点検風景



点検画面のイメージ
(旧システム)

■非破壊試験

電磁波レーダ法、電磁誘導法、電磁パルス法、漏洩磁束法、弾性波法の原理を理解してもらい、これらの測定装置を使って、鉄筋探査、圧縮強度・厚さ推定、内部欠陥探査、ひび割れ深さ推定などを体験することができます。講習会では、現場で使用する際のノウハウなども含めて説明します。



電磁波レーダ法



電磁パルス法



弾性波法